TOSHIBA

東芝全熱交換ユニット

取付説明書

形名

VFE-140KFP2
VFE-170KFP2

[販売店・工事店様用]

- **この全熱交換ユニットの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。**
- **取付工事は、必ず専門の工事店にご依頼ください。**
- **この製品には専用スイッチの他、別売のシステム部材が必要です。**
- **別冊の取扱説明書及びこの取付説明書は工事完了後お客様にお渡しください。**

安全上のご注意

- **取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。**
- **ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。**
  表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	**誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示します。**
⚠ 注意	**誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。**

＊物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 改造禁止	**⃠は、禁止(してはいけないこと)を示します。** **具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文章や絵で表示します。** **左図の場合は「改造禁止」を示します。**
 電源を切る	**❗は、強制(必ずすること)を示します。** **具体的な強制内容は、❗の中や近くに文章や絵で表示します。** **左図の場合は「電源を切る」を示します。**

⚠ 警告

 取り付けは依頼	**取り付け・移設は、お買い上げの販売店または取付専門業者に依頼すること** 取り付けが不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。
 確実に取り付け	**取り付けは取付説明書にしたがって確実に行うこと** 取り付けが不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。
 確実に取り付け	**強度のある所に確実に取り付けること** 落下し、けがをする原因になります。
 電気工事士が実施	**電気工事・アース工事は電気工事士(※)が行うこと** 電気工事士以外の人が工事をすると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
 取り付け禁止	**燃焼ガスや有害なガスなどを吸い込むところには取り付けないこと** **また、積雪で給排気口をふさぐところには取り付けないこと** 新鮮な空気の換気ができず、ガス中毒や酸欠の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

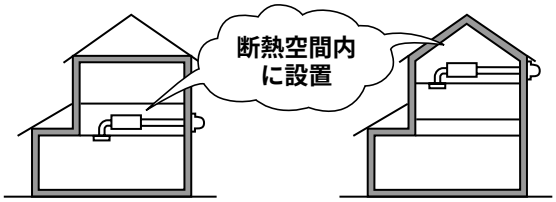
⚠警告	
 アースを接続する	**アースは、確実に取り付けること** 故障や漏電したとき火災・感電の原因になります。 アースの取り付けは、販売店や電気工事店を通じ、電気工事士に依頼してください。
 改造禁止	**改造はしないこと** 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	**修理技術者以外の人は分解・修理（※）をしないこと** 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買い上げの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 交流100V使用	**電源は交流100Vを使うこと** 交流100V以外を使うと、火災・感電の恐れがあります。

⚠注意	
 使用禁止	**浴室など湿気の多い所には本体・スイッチを取り付けないこと** 火災・感電の原因になります。
 使用禁止	**メタルラス張りなどの金属造営材と接触させないこと** 漏電したとき火災・感電の原因になります。
 下り勾配に取り付け	**給排気ダクトは、室外に向かって下りこう配に取り付けること** 雨水の浸水により、家財などを濡らす原因になります。
 断熱する	**ダクトは、結露防止のための断熱を行うこと** 結露水の浸入により、家財などを濡らす原因になります。
 取り付け禁止	**機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有毒ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する所には取り付けないこと** ガスによる中毒・発火の原因になります。
 取り付け禁止	**高温や炎が当たる恐れのある場所、油煙の多い場所には取り付けないこと** 火災の原因になります。
 確実に取り付ける	**本体カバー・熱交換器などの部品は確実に取り付けること** 落下し、けがをする原因になります。
 電源を切る	**取り付け後、長期間ご使用にならないときは安全のため電源を切ること** 絶縁劣化による火災・感電の原因になります。
 手袋を使う	**取り付けのときは必ず手袋を使うこと** けがをする原因になります。

取り付け上のお願い

●断熱空間内に設置してください。

断熱空間外に設置したときは、結露する恐れがありますので本体およびダクトを必ず断熱してください。



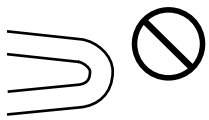
●風の吸い込み口（本体カバー）付近に障害物がなく、熱交換器のお手入れができる場所に取り付けてください。

●次のような場所には取り付けないでください。

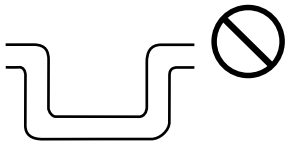
1．高温（40℃以上）になる場所
　①ガスレンジの真上
　②ガス湯沸器の真上
　（横方向へ50cm以上離してください）
2．台所など油煙の多い場所
3．腐食性ガスの発生する場所
4．浴室など湿気の多い場所

●次のようなダクト工事は、しないでください。

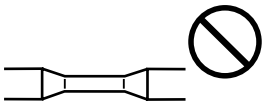
1．極端な曲げ



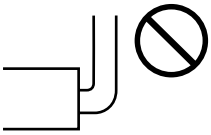
2．多数回曲げ



3．接続ダクト径を、極端に小さくする

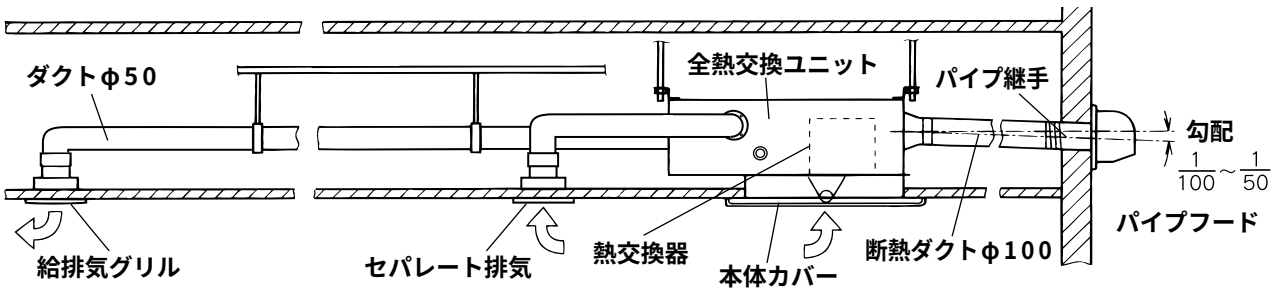


4．排気口のすぐ近くでの曲げ



●切替えスイッチを造営材に埋め込む場合は、金属性または難燃性絶縁物のボックスに収めて施設してください。

取り付け参考例

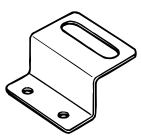
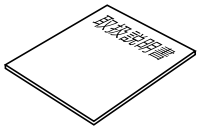


※断熱空間外に取り付けるときは本体およびダクトを必ず断熱材で覆ってください。

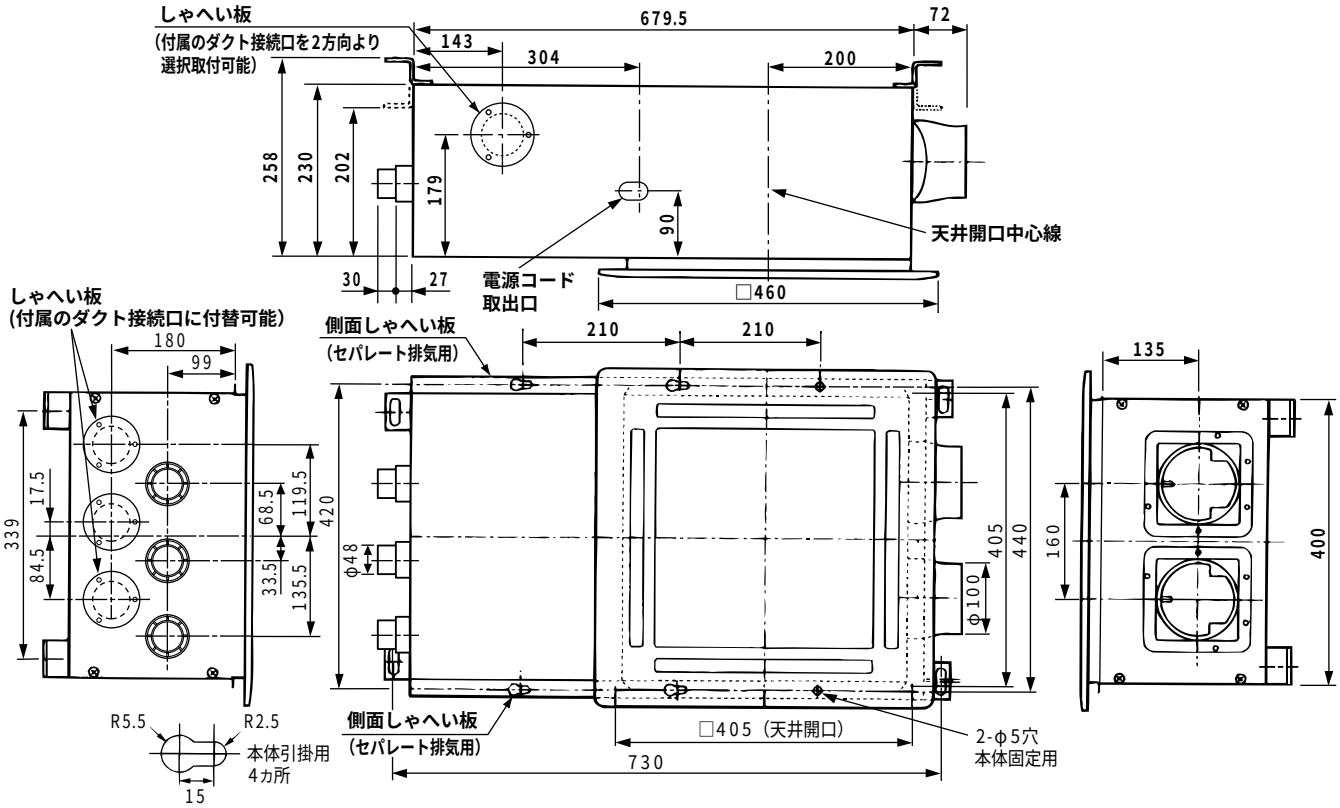
セパレート排気の特長

●湿気の取れにくい押し入れやクローゼットの空気も24時間常時屋外に排気します。
●セパレート排気した空気は熱交換器を通らないでそのまま屋外に排気されます。
●セパレート排気は本体の左右2ヵ所の取り出し口より1ヵ所を選択できます。

4室給気、5室給気するとき（VFE-170KFP2は6室給気に対応）は付属のダクト接続口を取り付け、給気グリルおよび必要に応じダクトをご注文ください。
※寒冷地では断熱ダクトをご使用ください。

付属部品			
吊下金具…4個 	平座金　…8個 （吊下金具取付用） 	ゴムワッシャー …8個 （吊下金具取付用） 	取扱説明書…1冊 （必ずお客様にお渡しください） 
取付ねじ…8個 （吊下金具取付用） 	取付ねじ…6個 （野縁取付用） 	ダクト接続口 …3個 (VFE-140KFP2) …4個 (VFE-170KFP2) 	

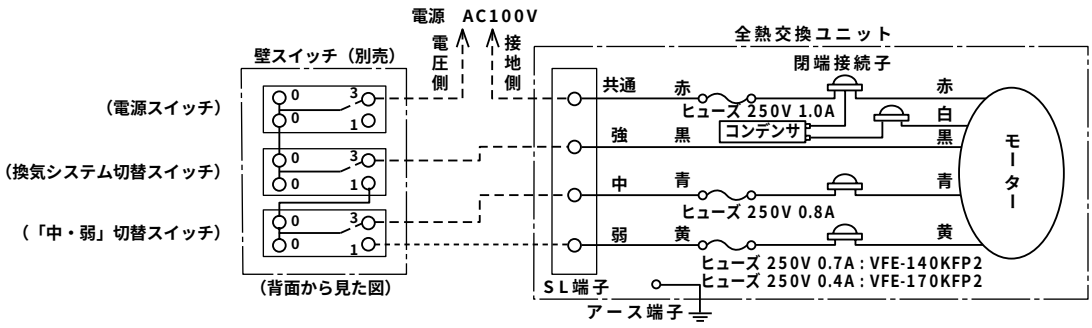
製品寸法



結線図

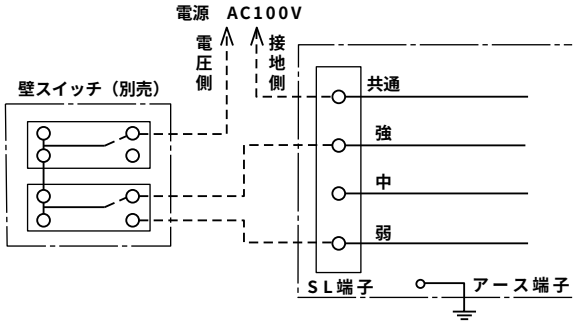
●標準スイッチを利用する場合

〈専用スイッチ SVF-2704(WW) の場合〉

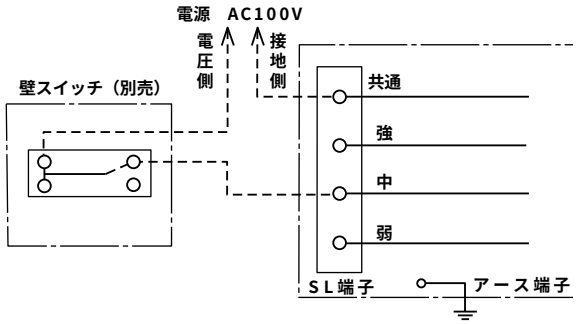


●標準スイッチを利用しない場合

〈電源スイッチ・強弱切替スイッチのみの場合（結線例）〉



〈電源スイッチのみの場合（結線例）〉



※建築基準法対応機械換気設備として設置され、壁スイッチを使用される場合は「換気システム用壁スイッチ」を使用するなど建築基準法に従って施工してください。

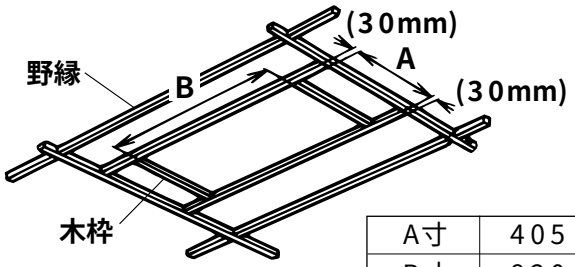
取り付け方法

A 本体の取り付け

野縁に取り付ける場合

1 **取り付け場所を決めて木枠を作り、野縁に取り付けます。**

●製品の質量に十分耐えるよう枠を補強材等で野縁に固定してください。



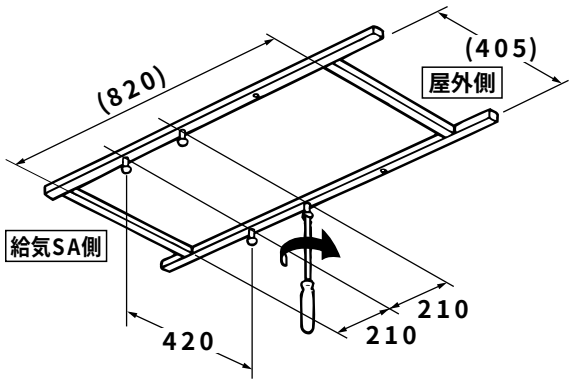
A寸	405
B寸	820

お願い

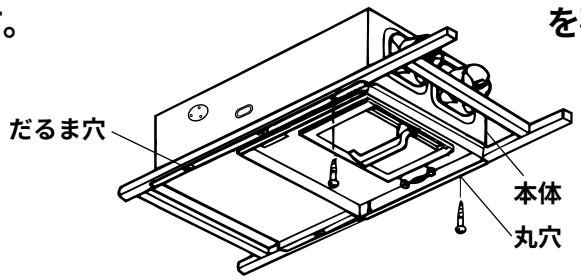
●本体質量は約12kgです。

●振動が起きやすい場所、警告記載場所への取り付けはさけてください。

2 **本体のだるま穴（4個）ピッチに合わせ、取付ねじ（4本）を木枠に付けます。**

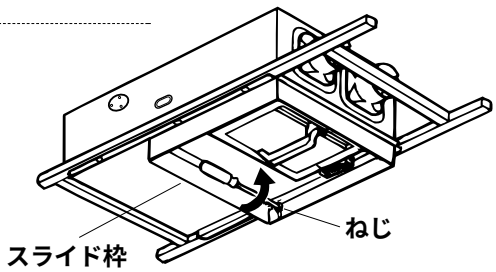


3 **本体のだるま穴から取付ねじの頭部を合わせて入れ、木枠をずらして仮り止めします。**



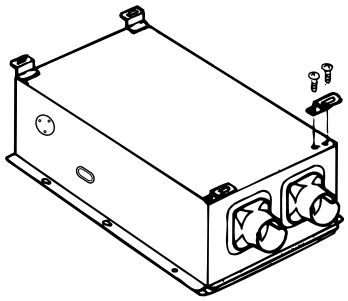
4 **丸穴（2個）を取付ねじ（2本）で本体を固定し、すべての取付ねじ（6本）を確実に締め付けます。**

5 **ねじ（2本）をゆるめスライド枠を下限まで下げ、ねじを締めて固定します。**



吊り下げて取り付ける場合

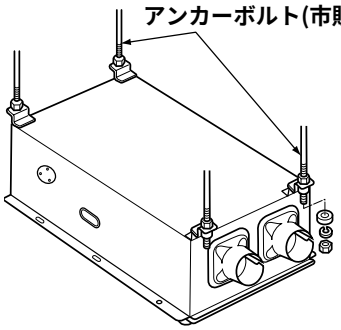
1 **付属の吊下金具（4個）を本体に取り付けます。**

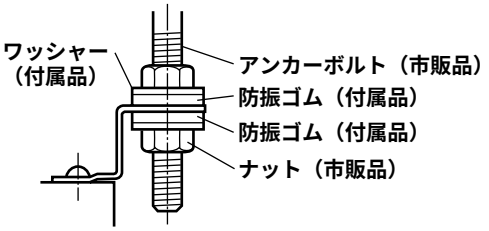


2 **本体取り付け寸法に合わせアンカーボルト（市販品：M10）を埋め込みます。**

取り付け方法（つづき）

3 本体をアンカーボルトに取り付けます。

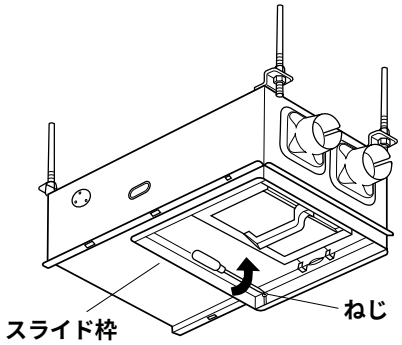




お願い

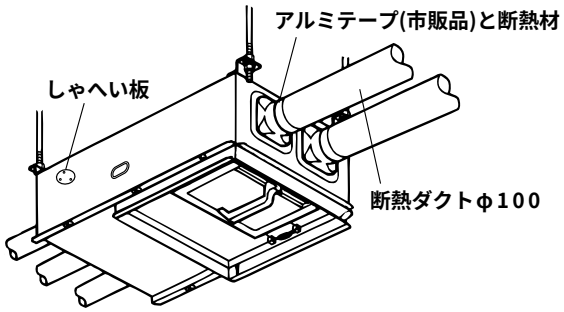
●本体が水平になるように取り付けてください。

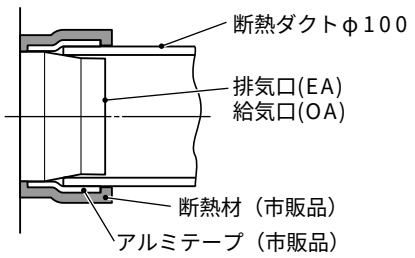
4 ねじ（2本）をゆるめ、スライド枠を下限まで下げ、ねじを締めて固定します。



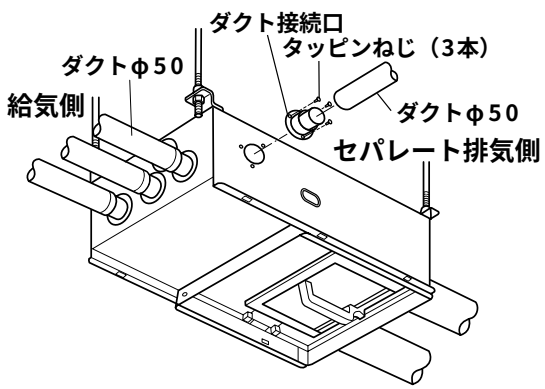
B ダクトの取り付け

1 断熱ダクトφ100を適切な長さに切断し、排気口（EA）・給気口（OA）にダクトをはめ込みアルミテープと断熱材で密封します。ダクトφ50も給気口（SA）、セパレート排気（左右どちらでも可）に接続します。

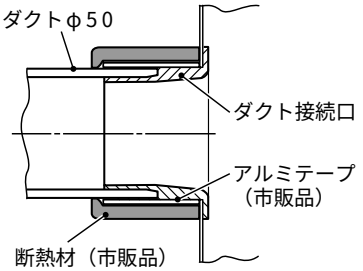




セパレート排気の接続は、しゃへい板を固定しているタッピンねじ（3本）をはずし、付属のダクト接続口に付け替え、ダクトφ50を接続してください。



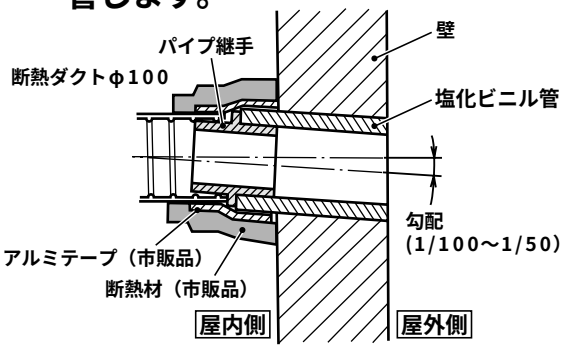
ダクトφ50をダクト接続口に差し込み、突き当ててアルミテープで固定します。



お願い

●接続部は断熱材で完全に覆い天井裏と断熱してください。

2 断熱ダクトφ100と外壁面に取り付けた塩化ビニル管にパイプ継手を（DV-14PT）を差し込み接続します。また、ダクトφ50は給気グリルに配管します。



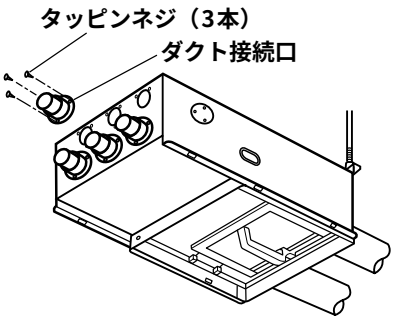
お願い

●接続部は断熱材で完全に覆い天井裏と断熱してください。

4室・5室・6室給気の場合

しゃへい板を固定しているタッピンネジ（3本）をはずし、付属のダクト接続口に付け替え、ダクトφ50を接続してください。

※6室給気対応はVFE-170KFP2のみです。



C 電気工事

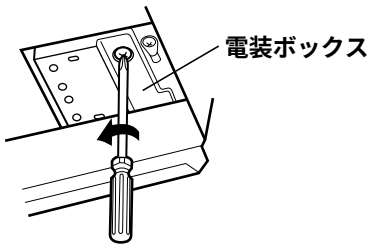
⚠警告	
交流100V使用	**電源は交流100Vを使うこと** 交流100V以外の電源を使うと火災・感電の恐れがあります。
電気工事士が実施	**電気工事・アース工事は、電気工事士が行うこと** 電気工事士以外の人が工事をすると、火災・感電・けがの原因になります。
アースを接続する	**アースは、確実に取り付けること** 故障や漏電したとき火災・感電の原因になります。

お願い

●SL端子接続部は指定の電線を使用して抜けないように接続してください。（接続に不備がありますと、火災の恐れがあります）

1 電装ボックスの蓋を外します。

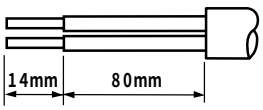
●電源コード線、アース線の取り付けが完了したら再び蓋を取り付けます。



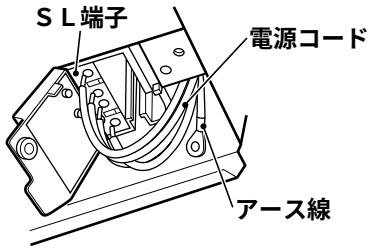
2 電源コード線とアース線を取り付けます。

●本体上部のブッシングから電源コード（VVF φ1.6またはφ2.0）およびアース線を通します。

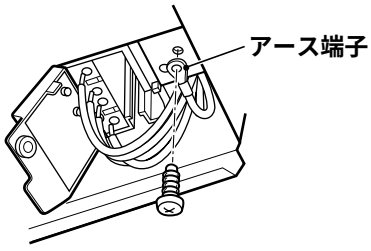
①電線の被覆を14mmむきます。



②ＳＬ端子へ差し込みます。



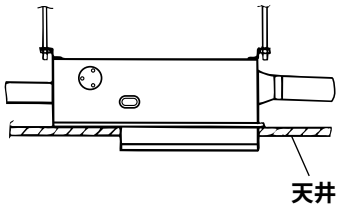
③アース線をアース端子に固定します。

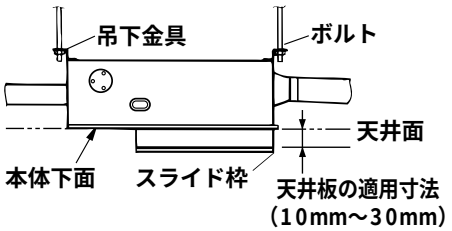


取り付け方法（つづき）

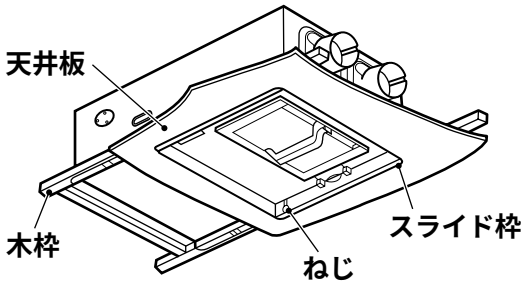
D 天井板の貼り付け

1 天井面と本体下面を合わせた後、スライド枠側面に当てて天井を貼り付けます。（吊下金具利用）





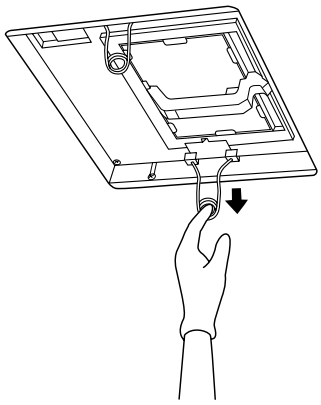
2 スライド枠を天井まで押し上げてねじ（2本）で固定します。



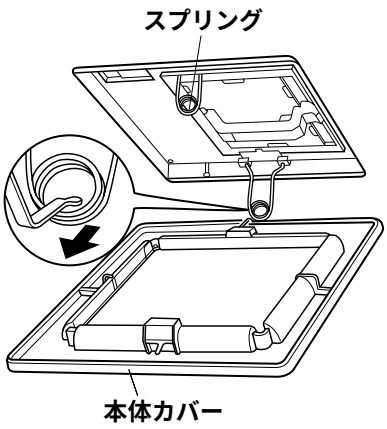
E 本体カバーの取り付けかた

●天井板が貼り終りましたら本体カバーを取り付けます。

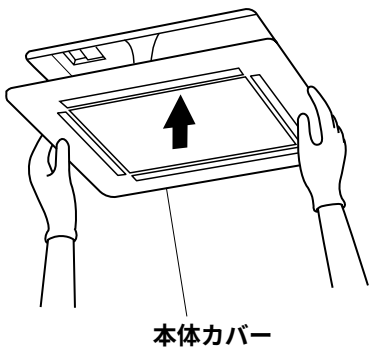
1 本体からスプリングが止まるまで、ゆっくりと真下に引き出します。



2 スプリングに取付金具を引っ掛けます。



3 本体カバーを、そのままゆっくりと押し上げます。



F 試運転

次の点検を行い異常がないか確認してください。

①製品の取り付け強度は十分ですか。

②正常な運転ができますか。

●運転したとき異常音・異常振動がないことを確認してください。

●換気システム切替スイッチ、「中・弱」切替スイッチで「強」・「中」・「弱」の切り替えを確認してください。

③正常な運転ができない場合は、配線をもう一度確認してください。

④本体カバーが確実に取り付いていますか。

SN:ET99801801-②